

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2019年1月1日 184号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

迎春

2019年

(平成31年)



パラグアイ河畔にて、レダプロジェクト創始者の言葉を学ぶ、第18回国際協力青年奉仕隊員たち。

新春のお慶びを申し上げます

今年にはレダ開拓二十周年を迎える年です。この間の皆様方の並々ならぬご尽力、ご支援に対し心より感謝申し上げます。

一九九九年八月以来、ただ一心に創始者の願いに応え「為に生きる」理念と、真の愛による神の国のモデルを築かんと、多くの犠牲を払いながら黙々と歩んでまいりました。そして今、目指すゴールの姿が少しずつ見えるようになってきました。

二十一年間に流した血と汗と涙が、地域住民や指導者のみならず、世界の若者たちの心を動かし、自らの意志で先輩の歩んだ道を引き継ぎ、夢を実現したいと立ち上がってくれるようになってきました。

世界が激動し、先行きが容易に見えないような昨今ですが、また同時に、新たな希望のうねりが世界を動かそうとしています。混沌・混沌の時代は、フレッシュな希望の創造される時でもあります。すでに時は満ち、夢の実現が手に届く時を迎えています。

このように二〇一九年は、昨年以上に、内外ともに大きな変革の年となるでしょう。我々も「希望ある変革」の弛みなき担い手として、従来「見捨てられた地」と言われてきたパンタナールの果てから世界に向かって、具体的に目に見える希望のメッセージを力強く発信し続けて行きます。

二〇一九年元旦

南北米福地開発協会

代表理事 中田欣宏





養殖学の専門家、鮮文大の権懋樞教授が到着。1月26日



マグノ教授が稚エビを点検。



稚エビ1800匹が到着。1月24日。



南米21日研修会。1月13日～2月2日。研修生20名参加。



奥迫夫妻がオニテナガエビの養殖研究に没頭。



第6回パクー稚魚放流式。5月4日。



GPA (Generation Peace Academy) のレダ来訪。3月1日～8日。19名参加。



タロイモ田で作業する、中期ボランティアたち。



中期ボランティアの若者が、男女ともに増える。4月6日撮影。



1年間の活動を終えて。7月27日。



シニアツアー。7月15日～26日。



権懋樞教授と2名のインターン生が到着。7月4日。



国立アスンシオン大学と当会現地法人が相互協約に調印。8月17日。



韓鶴子総裁のブラジル大会に参加。8月4日～5日。



第18回青年奉仕隊がレダ基地で体験学習。9月3日～9月7日。



第18回青年奉仕隊がトロパンパで奉仕活動。8月30日～9月3日。



土地の境界を明示する鉄線の柵。



パクーの販売のため新しく導入した冷凍車。



共に長期で歩む岩澤夫妻。11月22日撮影。



北部の新基地の名は、プエルト・カナン。



日陽園北部に新しい基地の建設が進行中。

第十八回パンタナール一日研修会を開催



十二月一日(土)、午前十時二十分から午後五時まで、東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟四〇一室において「第十八回パンタナール一日研修会(ワンデイセミナー)」を開催しました。当法人とNPO法人「地球の緑を守る会」の共催です。以下、後藤誠一実行委員長の報告を簡略的にまとめたものです。

美しい紅葉が真っ盛りの青少年総合センター。地球温暖化の影響か、十二月にしてはとても暖かい気候の中、行われました。参加者数は八十八名でした。研修会は、実行委員長の挨拶に始まり、柴沼邦彦理事による「レバレンド・ムーンの思想とレダ開発」が、文先生のみ言葉・精神「何事にも精誠を尽くされる」「すべてを丸ごと飲み込むパンタナール精神」を中心にレダでの生活体験を交えて語られました。参加した先輩会員の中にも、再度原点に立ち返ることができて本当によかったとの感想がありました。



全体記念写真撮影の後、青少年センター二階の食堂で、混雑を避けて早めの昼食をとりました。参加者の皆さんは、この時間に個人交流を楽しみました。午後は十二時三十五分から、竹之内美紀さんの歌う「パンタナール賛歌」で始まり、美しいレダの情景に想いを馳せました。地球の緑を守る会の高津啓洋代表理事による講義は、ポットの苗木を使って、「木を植える森を再生する」ことの意義を、文先生の環境問題に関する言葉とともに、熱く語られました。また地球の緑を守る会の顧問である宮脇昭博士が推進されている、混植・密植方式を取り入れた森林再生について解説しました。中期ボランティアでレダに滞在し、動物看護士として動物の飼育に携わってくれた河野伊純

さんと、青年奉仕隊の一員として、この夏レダを訪問し、尽力してくれた小島希晶さんから、青年であるがゆえに感じた世界が体験と共に報告されました。



河野さん：理想は「ズートピア」



小島さん：奉仕とは「心に火を灯すこと」

また、青年局の島田賢二局長から「青年教育の推進と大衆教育への進出」と題し、現在青年局として取り組んでいる内容が明快なパワーポイントで発表されました。その後、中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」と題し、二〇一九年八月の、レダ開拓二十周年に向けた取り組みや、経済自立に向けた取り組み状況が紹介されました。

続いては、セミナースタッフの高橋容子さんによる入会案内。その後は、恒例の各講師を囲んでの分科会です。三グループに分かれ、互いの顔の見える座り方で、親しく意見交換や質疑応答がなされました。最後に三人の参加者から感想が述べられ、夕方五時にセミナーの全プログラムを終えました。全体を通じて感じたことは、第一に、今までほとんど来られなかった先輩が何名か参加され、大きな刺激を受けておられたこと。第二に、教育のために息子・娘をレダに送りたいと希望する親御さんが熱心に講義・分科会に参加しておられたこと。更には、青年の参加者がセミナー毎に増え続け、レダに行ってみたく感じました。反省点としては、当日になってキャンセルをした方がやや多かったことです。



分科会の様子。12月1日、青少年総合センター。改めて皆様のご支援・ご尽力に感謝致します。次回は四月二十七日(土)、会場は今回と同じ、代々木の青少年総合センターです。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



ウスタビガ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしております。宛て先は、事務局: office@asd-nsa.com へお願いします。